

2018 年度 日本リトルシニア
第 47 回日本選手権関西連盟中国支部大会



大会要綱

主 催 一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛 株式会社ハーカスレイ (ほかほか亭中国各店舗)
期 日 平成 30 年 5 月 19 日 (土) ~ 平成 30 年 6 月 9 日 (土)
場 所 しまなみ球場、コカ・コーラウエストスタジアム、吳市総合 SC 野球場、山口きららドームスタジアム、糸スタジアム、ほか西部・東部各球場
競 技 方 法 関西連盟大会規定を採用する。(一部、大会特別規定を採用)
トーナメント戦 ※東西地区分けなし (三位決定戦を行う)
大 会 副 賞 【大会出場権】優 勝: 日本選手権大会 (関東): 1 チーム
開 会 式 期: 平成 30 年 5 月 19 日 (土): 8:30 (受付開始 7:00 ~ 運営会議: 7:30 ~)
於: しまなみ球場
閉 会 式 期: 平成 30 年 6 月 9 日 (土): 決勝戦終了後 (14:00 予定)
於: 糸スタジアム (予備日: 6/7 (日): 専用球場)
参加チーム 日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ: 19 チーム

抽 選 会	平成 30 年 4 月 22 日 (日) コカ・コーラウエストスタジアム: 第 2 会議室
参 加 費	大会規定額を納入 (期日までに中国支部の口座に振込)
試 合 球	ミズノ (シニアリーグ公認球) 試合ごとに 4 球
審 判 員	<ul style="list-style-type: none"> 一回戦~準々決勝: 本部審判員 2 名、父兄審判員 2 名 (各チームから 1 名派遣) ※父兄審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 準決勝~決勝戦 (三位決定戦): 本部審判員 4 名 (各チームからの派遣なし)
審 判 弁 当	派遣人数支分給 (各チーム: 1 日 1 個まで)
参 加 要 件	<ol style="list-style-type: none"> 本大会は、日本リトルシニア野球協会が発行する選手・指導者カードの所持者のみ、ベンチ入りを許可する。※仮カードは不可 (但し、スコアラー 1 名は除く) ベンチ入りできる選手は 25 名までとし、背番号は 1 ~ 25 番までとする。 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 本大会に参加する選手 (指導者含む) ならびにチーム関係者は、全ての試合においてスponサー弁当 (@600 円) を注文すること。(但し、一部球場を除く)

競技要項 (大会特別規定)



- ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム 2 名とする。(ボールボーイは原則ベンチ入り選手とし、アップシューズを着用)
- 各チーム派遣の審判員は一塁と三塁の審査を担当する。なお、担当する試合は支部取り決めどおりとする。
- 各球場のグランドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 試合は 7 回または 2 時間制とし、5 回をもって試合成立とする。(5 回までは 2 時間超えても試合を行う) なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク (最大 3 回: 1 アウト満塁) を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー (18 名) による抽選にて勝敗を決定する。
※第 4 項の詳解は別紙を参照。
- 5 回以降 7 点差および 4 回以降 10 点差をもってコールドゲームとする。(但し決勝戦は除く)
- メンバー交換は前試合 3 回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表 (5 部) を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 試合前のシートノックは 7 分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。(原則、各補助員は登録選手に限る)
- 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に限り、アップやキャッチボールを認める。(ノックやトスバッティングは禁止)
- 次試合チームの先発バッテリー 1 組に限り、4 回終了以降、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。(但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと)
- ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用 (特にキャッチ面) し、捕手の安全を守る保護選手を 1 名帯同させること。(保護選手も必ずヘルメットを着用すること)

その他の注意事項

- 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 審判員は第 1 試合の試合開始 40 分前までに待機し、第 2 試合以降は、前試合 3 回終了前までに必ず審判控室にて待機する。(審判服は支部指定)
- 各チームの放送係は、第 1 試合の試合開始 40 分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。(鳴り物応援禁止)